

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和2年度)

施設 の 名 称	宮城県障害者福祉センター
指 定 管 理 者 の 名 称	社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会
施 設 所 管 部 課 (室)	保健福祉部障害福祉課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年4月 ~ 平成26年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県身体障害者福祉協会	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県身体障害者福祉協会	
平成31年4月 ~ 令和 6年3月	指定管理者	社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会
	所在地	仙台市宮城野区幸町4丁目6-2
指 定 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県障害者福祉センター	
所 在 地	仙台市宮城野区幸町4丁目6-2	
設 置 年 月	昭和58年4月	
根 拠 条 例 等	障害者福祉センター条例	
設 置 目 的	障害者に関する各種の相談に応じ、障害者に対し必要な便宜を供与するとともに、障害者の福祉に関する研修、ボランティア養成等を行い、障害者の総合的な福祉の増進を図るため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	23,102.57㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造3階建
	内 容	事務室、ロビー、展示、相談室、図書閲覧室、機械室、管理人室、湯沸室、トイレ(男女、多目的)、日常生活訓練室、宿泊室、談話室、食堂、配膳室、浴室、リネン室、社会適応訓練室、介助技術訓練室、会議室(小中大)、倉庫など
開 館 (所) 日	日～土曜(火曜、祝日、年末年始除く)	
開 館 (所) 時 間	午前9時00分 ~ 午後9時00分	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの設置目的に即した業務(施設の提供、相談及び研修など) ・施設全体の管理運営業務(運営推進委員会、利用者懇談会) ・施設の使用許可申請の受付及び許可業務 ・機械設備の操作・日常点検業務 ・施設全体の維持管理業務(清掃及び保守点検等) ・施設の亡失等の届出受理及び報告業務 	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
開館(所)日数	246 日	286 日	246 日	100.0%	86.0%
延べ利用者数	31,150 人	31,120 人	11,020 人	35.4%	35.4%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
各種事業参加者	2,350 人	2,329 人	885 人	37.7%	38.0%
自主事業参加者	1,200 人	1,194 人	766 人	63.8%	64.2%
その他施設利用者	27,600 人	27,597 人	9,369 人	33.9%	33.9%
	人	人	人		
	人	人	人		
合 計	31,150 人	31,120 人	11,020 人	35.4%	35.4%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和2年度) (A)	前 年 度 (令和元年度) (B)	評価対象年度 (令和2年度) (C)		
県指定管理料	46,803	46,645	46,803	100.0%	100.3%
利用料金収入	407	325	52	12.8%	16.0%
その他	306	423	433	141.5%	102.4%
収入計 (a)	47,516	47,393	47,288	99.5%	99.8%

(2) 支出

人件費	32,557	28,555	32,554	100.0%	114.0%
施設管理費	8,270	9,044	8,110	98.1%	89.7%
事業運営費	6,558	7,606	6,000	91.5%	78.9%
その他	131	2,085	1,305	996.2%	62.6%
支出計 (b)	47,516	47,290	47,969	101.0%	101.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	103	-681		-661.2%
前期繰越収支差額		982	1,085		110.5%
次期繰越収支差額		1,085	404		37.2%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(令和2年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
			評価	評価			
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修については年間9回の内・外部研修会等を実施・派遣。資質向上を目指し各職員を派遣しました。 利用者の安全確保を重視し、利用人数の制限や自動検温器、パーテーションなどの配置及び館内消毒の徹底などきめ細やかな衛生管理、環境整備に努めました。 		<ul style="list-style-type: none"> 職員間の連携・協力により、事業の実施、各研修への派遣及び貸し館業務を滞りなく実施しました。 新型コロナ感染症対策など、利用者の安全を最優先に対応しました。 必要に応じて手話での対応も心掛けました。 		A	<p>必要最低限の職員配置で、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、施設の管理運営を適切に実施していた。</p> <p>また、職員研修を積極的に行うなど、職員の資質向上にも努めていた。</p>	A
人員体制	正規 6人	非正規 1人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>昭和58年の開所であり、施設・設備等随所に老朽化が見られるので、設備保守管理者並びに器具類取り扱い業者と緊密に連絡を取り保守点検、修理等を実施しました。</p> <p>(業務実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保守点検等 外灯ポール塗装、屋内消火栓設備修繕、浴室床張り替え等 大会議室、食堂のテーブルを一部交換 		<ul style="list-style-type: none"> トイレ、湯沸室の水漏れや照明の消し忘れ等、日常点検を行うなど節水、節電を心がけました。 廊下等の床面の雨雪による水滴・汚れで転倒事故が起こらないよう、点検・清掃に配慮しました。 利用者の要望に添いながら快適に安心して施設を利用していただけよう各工事の計画、実施に努めました。 		S	<p>施設の老朽化が懸念される中、利用者の安心・安全を第一に考え、適切に管理運営されていた。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>業務仕様書に基づき業務を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相談事業 ②研修事業 ③日常生活支援事業 ④カルスポ(カルチャー・スポーツ)・交流事業 ⑤広報・啓発事業 ⑥施設の便宜提供 ⑦サービスの向上に係る取り組み ⑧環境配慮の取り組み 		<ul style="list-style-type: none"> 職員はよりよい運営はもちろんのこと、各参加者とのコミュニケーションを豊かにとることで、ニーズの把握や安心と信頼を深める努力を重ねました。 各事業は徹底した感染防止対策の下、実施しました。 「センターまつり」や「ダンスパラダイス」等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、代替事業として「感謝祭」を実施しました。 eスポーツ体験教室や新規種目の教室が好評で新たな利用者層の開拓につながりました。 事務所内や窓口での対応は明るく和やかな対応を心がけました。 		A	<p>事業計画に基づき、適正に実施されていた。新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず中止した事業もあったが、工夫を凝らして、代替事業や新規事業を実施した点は特に評価したい。</p>	A
④自主事業の実施	<p>(1)出前教室 (2)ロビーパフォーマンス「スポットライトひろば」</p>		<ul style="list-style-type: none"> 出前教室の件数・参加人数とも新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度より大きく下回りましたが、小中学校での福祉体験学習の多彩なプログラムは大変喜ばれました。 各事業参加者や利用団体による作品を展示しました。 		A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度よりも実施件数や参加者は減少したものの、可能な範囲で適正に事業を実施し、障害者への理解促進に貢献している。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員会の開催(2回) 利用者懇談会の開催(中止に伴いアンケート調査を実施) 隣接施設との協力体制の強化 ホームページの更新・管理 要望への迅速な対応 物品の無料貸し出し(車いす、パーテーション、加温器等) ロビーの開放・展示場所の提供 部屋の貸し出しの前の点検及びテーブル拭きの実践 定期利用団体への貸出ロッカーの提供 		<ul style="list-style-type: none"> アンケートも含め寄せられた施設へのご意見・ご要望には迅速な対応・改善に努め、運営に反映させました。 隣接の障害者総合体育センターや温水プールと連絡会を設け、情報の共有やサービスの向上を視野に連携を深め、各事業運営に反映させました。 利用者が快適に施設を利用できるように上記項目について便宜を図りました。 		S	<p>施設の役割等をしっかり把握した上で、利用者の意見・要望に真摯に対応しており、サービス向上に向けた様々な取組が適正に実施された。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ポスト「ケヤッキーあのおね」の設置0件 口頭・電話による要望受付5件(解決5件) 苦情受付の窓口設置0件 		<ul style="list-style-type: none"> できる限り、迅速な対応を心掛け、改善を図りました。 苦情はありませんでした。 		A	<p>受け付けた要望すべてが解決されており、利用者に寄り添った業務改善が行われていた。</p> <p>また、前年度に引き続き苦情が0件だったことは特に評価できる。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足に伴う交通整理及び利用者の誘導の徹底 ・点字ブロック上の安全確保(車両移動) ・地震等災害発生時、館内放送・電光掲示板での情報提供 ・消防避難訓練の実施2回 ・消防設備点検 ・施設内外設備点検 ・災害用非常食及び救急用品の備蓄 ・防災対策、交通安全の注意喚起・研修 ・福祉避難所の設置及び管理運営に係る協定締結 ・熱中症、ノロウイルス、新型コロナウイルス感染症対策(1日3回以上の館内消毒) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当センター利用者が安心してご利用いただけるよう、安全面での確保を図りました。 ・地震の時には速やかな情報の提供、避難誘導、被害状況の有無の点検をおこない安全な環境の確保を心がけ実践しました。 ・福祉避難所として機能できるよう、その対応や職員連絡網・マニュアル、備蓄品を整備し、点検、扱い方の訓練をおこないました。 	S	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な新型コロナウイルス感染症対策が徹底されており、利用者の安全のための努力が随所に見られた。 また、福祉避難所としての役割を意識した防災対策や訓練が適切に行われており、その成果が地震発生時の迅速な対応に表れていた。 	S
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 部屋の申込受付 ※申込みの公平性を保つため6ヶ月前の1日から受付(平成26年10月から開始)とし、毎月1日は予約専用ダイヤルで1団体・個人につき1件の予約を受け付ける方式を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見ての県外からの利用への問い合わせも多く、更に利用者にとっての「わかりやすさ」「使いやすさ」を重視した内容にリニューアルしました。 ・優先予約受付日はルール遵守に努め、公平性を徹底しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 会議室等の予約受付に関しては、ルールに則った公平公正な取組がなされていた。 また、平等利用への配慮に加えて、ホームページのリニューアルによる利便性向上にも積極的に取り組んでいた。 	A
⑨個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の申込み書の取り扱いに注意し、使用後の破棄の作業はシュレッダーを使用しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はありませんでした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報記載された申込書等の取扱には、細心の注意を払っており、施錠できる書棚での保管等のルールが職員間でしっかり共有されていた。 	A
⑩利用実績	「4 施設利用実績」のとおり	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設利用の一時期休止や利用人数の制限に伴い、利用人数が著しく減少しました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少については、利用人数の制限等の対策を適切に講じた結果であり、やむを得ないものであるため、適正な管理運営が行われていたと考える。 	A
⑪収支実績	「5 管理運営収支実績」のとおり	<ul style="list-style-type: none"> ・支出面では業務運営に支障がでない状況で節約を実施しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 節電や節水を呼び掛ける掲示が施設内の様々な場所で行われており、少しでも支出を減らす努力が見て取れた。 	A
⑫その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ①虐待防止への取組 ②地域・住民関係機関との連携 ③環境配慮への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待はありませんでした。所内会議等では虐待に関する話題を繰り返し取り上げ、啓発や防止に努めました。 ・地域住民の方々が障害福祉に関心を寄せられ、各事業等への参加がありました。 ・日頃から職員はリサイクルに取組み、宮城県県の「わが社のe行動宣言」に基づき環境に配慮した行動に努めました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 節電及び節水や資料印刷時の裏紙利用等の様々な環境配慮の取組が実施されていた。 今後は、基本協定書でも定めている障害者就労施設等からの物品等の優先調達を更に積極的に推進していただきたい。 	A
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理基本協定書に基づき管理運営業務を遂行しました。 利用者本位の姿勢・サービス及び安全性、公平性を確保しながら利用者の意見を管理運営に反映させ、関係機関との連携や協力のもと、円滑で安定した運営に努めました。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部の事業は中止を余儀なくされましたが、そのなかで感染防止対策を徹底し、参加者の安全面に配慮した新規教室や代替事業等を実施しました。また、施設設備の老朽化に伴い、保守点検や修繕をこまめに行い、利用者の安心・安全の確保に努めました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間をとおして、事業計画に沿った施設の管理運営が適正に行われていた。 新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない事業があった反面、工夫を凝らして、参加者の安全面に配慮しながら、代替事業や新規事業を実施した点は特に評価したい。 また、施設の老朽化に伴い増加する保守点検や修繕、近年増加している地震発生時の緊急的な対応等の負担の大きい業務も適切に実施されていた。 	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	<p>・新型コロナウイルスとの共存も見据え、新たな生活様式に対応した施設の在り方を考え、利用者により安心して利用していただける施設の管理・運営を行ってまいります。</p> <p>・「感染症対策」に考慮しつつ、事業の充実を図り、利用者本位の施設運営を心掛け、一人でも多くの方々に当センターを知っていただき、ご利用いただけるよう周知活動に力を入れていきます。</p> <p>・館内のWi-Fi整備、オンラインでの会議や研修に対応できる設備の充実やweb上での予約などを求める声が年々増えており、インターネット環境の整備が望まれています。今後は、HP上での空室状況の公開などできる限り改善に努めます。</p>	<p>今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続く予想されるため、利用者の安心・安全を第一に考えた感染症対策の徹底とコロナ禍で事業を継続するための創意工夫が求められる。</p> <p>また、施設全体の老朽化が著しいことから、予防保全の考え方を取り入れつつ、令和2年度に策定した個別施設計画に基づいて計画的に維持修繕を実施し、長寿命化を図る必要がある。</p>